

都内私立小・中・高等学校
校 長
防災担当教職員 殿
関係教職員

一般財団法人東京私立中学高等学校協会 会長 近藤 彰郎
東京私立初等学校協会 会長 小泉 清裕
防災対策中央委員会 委員長 畑澤 正一
東京私学教育研究所 所長 須藤 勉
学校安全・健康教育研究会 委員長 河合 孝允
(共催：公益財団法人東京都私学財団)

防災対策中央委員会／学校安全・健康教育研究会「合同研修会」のご案内 「自校が避難所になったときの対応とポイント」

秋冷の候 先生方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて今回は、一般社団法人防災住宅研究所より代表理事・所長の児玉猛治氏をお招きし、「自校が避難所になったときの対応とポイント」とのテーマで、ご指導いただくこととなりました。

本研修は、株式会社JTBコーポレートセールスと一般社団法人防災住宅研究所が共同開発しました、「防災寺子屋」(災害対策学習プログラム)の一部を教員向けにアレンジしてご指導いただくものです。

校務ご多忙の折とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご参加賜りたくご案内申し上げます。

記

1. 日 時 平成29年11月30日(木) 18:00~20:00 (受付 17:30~)
2. 会 場 アルカディア市ヶ谷(私学会館)会議室 千代田区九段北4-2-25 TEL 03(3261)9921 (代)
※ 裏面案内図をご参照ください。
3. テーマ 「自校が避難所になったときの対応とポイント」
4. 講 師 一般社団法人防災住宅研究所 代表理事・所長 児玉 猛治 氏
【講師プロフィール】
昭和40年生まれ、広島市出身。広島大学経済学部卒。
30歳で上京し、テレビ番組の制作に従事する。広告代理店勤務時代には、番組ディレクターやプロデューサーとして番組制作に携わる。独立後、宣伝映像制作を主業務とする会社を設立し、各方面での広報・宣伝活動に従事する。
災害現場での取材を通じて、災害の怖さを体感。災害に脆弱な日本の住宅を目の当たりにし、「命を守る住宅」の大切さを痛感。自身も両親とともに住む自宅が火事で全焼するなどの被災経験もあり、平成22年1月に一般社団法人防災住宅研究所を設立し、災害と住宅に係る本の出版や、代表理事として多くのセミナーなどを各地で行っている。
平成27年度からは、JTBグループ企業とともに中・高生向けの防災プログラム「防災寺子屋」を開発し、学校で実施。
5. 内 容 ①防災講習
・災害大国日本の現状を知る
・自分が被災者になる確率を減らすポイント
②自主行動訓練Ⅰ「身近な物で被災直後をしのぐ」
・飲料缶で簡易ランプを作る
・ゴミ袋や新聞紙で簡易寝袋を作る
・段ボールで簡易トイレを作る
・避難勧告等の判断伝達マニュアル作成ガイドラインの概要について
③自主行動訓練Ⅱ「ゲーミフィケーション」
・設定されたテーマに基づき、発災時の対応を考える
④備蓄食料の準備
・アルファ米を利用してカレーライスを作る

6. 定員 50名 (申し込み順 ⇒ 定員になり次第締め切ります)

7. 参加費 無料 (本研修会は、当協会会員各校の拠出金と(公財)東京都私学財団からの補助金で運営しております)

8. 申込方法 参加のお申込みやお問い合わせは、東京私学教育研究所にて承ります。
11月20日(月)までに下記宛にFAXにてお申込みください。
(物品等準備の都合上、お早目のお申し込みをお願いいたします。)

東京私学教育研究所 学校安全・健康教育研究会 担当：松田・横山

TEL 03-3263-0544 FAX 03-3263-0560

《案内図》



■交通のご案内



地下鉄 有楽町線・南北線
市ヶ谷駅 (1またはA1) 出口



地下鉄 新宿線
市ヶ谷駅 (A4またはA1) 出口



JR中央線(各駅停車) 市ヶ谷駅

上記改札・出口から徒歩約2分

切り取らずにそのままFAXしてください。送り状は不要です。

防災対策中央委員会／学校安全・健康教育研究会「合同研修会」参加申込書

[11月30日(木)実施]

学 校 名	氏 名 (ふりがな)	職 名

上記の通り参加申込いたします。

平成29年 月 日

防災対策中央委員会 御中
東京私学教育研究所

校 長 _____ 印

※FAX受理、受付完了等の連絡は省略いたします。(本申込書をお送りいただいた時点で受付完了です)
申込確認が必要な方は、下記にご記入ください。後日、申込書受理書をFAXでお送りします。

・希望する

理由等	FAX番号:
-----	--------